

## 「心に残る文化財子ども塾」学習指導案

日時 令和6年7月8日(月) ①②

8:40~10:10

場所 大田市立静間小学校 6年教室

対象者 6年生12名

指導者 遠藤公史先生

世界遺産室職員 岩橋

1 主題 「心に残る文化財子ども塾～古代の人の生活を知り、土器作りを体験しよう～」

2 ねらい

- ・自分たちの身近な地域の遺跡を知り、古代の人の生活に関心をもつ。
- ・土器作りの体験を通して、古代の人の生活やもの作りについて知る。

3 展開

時間	学習内容	教師の支援	分担/準備物
5分	○あいさつ/講師の紹介 ○本時の学習の確認	○講師の紹介をする。 ○学習の内容やねらいを説明する。	担任
20分	○ <u>古代の人の生活</u> ・自分たちの身近な地域にある遺跡について知る ・どのような遺跡、遺物があるのか	・遺跡について世界遺産室職員の話聞く。 ○写真や実物を見たり、古代と現代との生活を比べて相違を知ったりすることで、興味関心をもてるようにする。	室職員
60分	○ <u>土器作り体験</u> ①土器について知る ②土器の作り方の説明をきく ③土器作り ④片付け	・土器について世界遺産室職員の話聞く。 ○必要に応じて声かけをしながら、土器を制作する。	室職員/担任
10分	○まとめ ・学習のふりかえり ・感想発表 ○あいさつ	○本時の学習で学んだことをまとめたり、発表を促したりする。	

4 準備するもの

(学校) 新聞紙、PC、長机、粘土板、振り返りシート

(文化財課世界遺産室) 出土遺物、学習の資料、データ(CD)、アンケート用紙  
粘土、土器作りの補助材料、土器見本、出土遺物、